

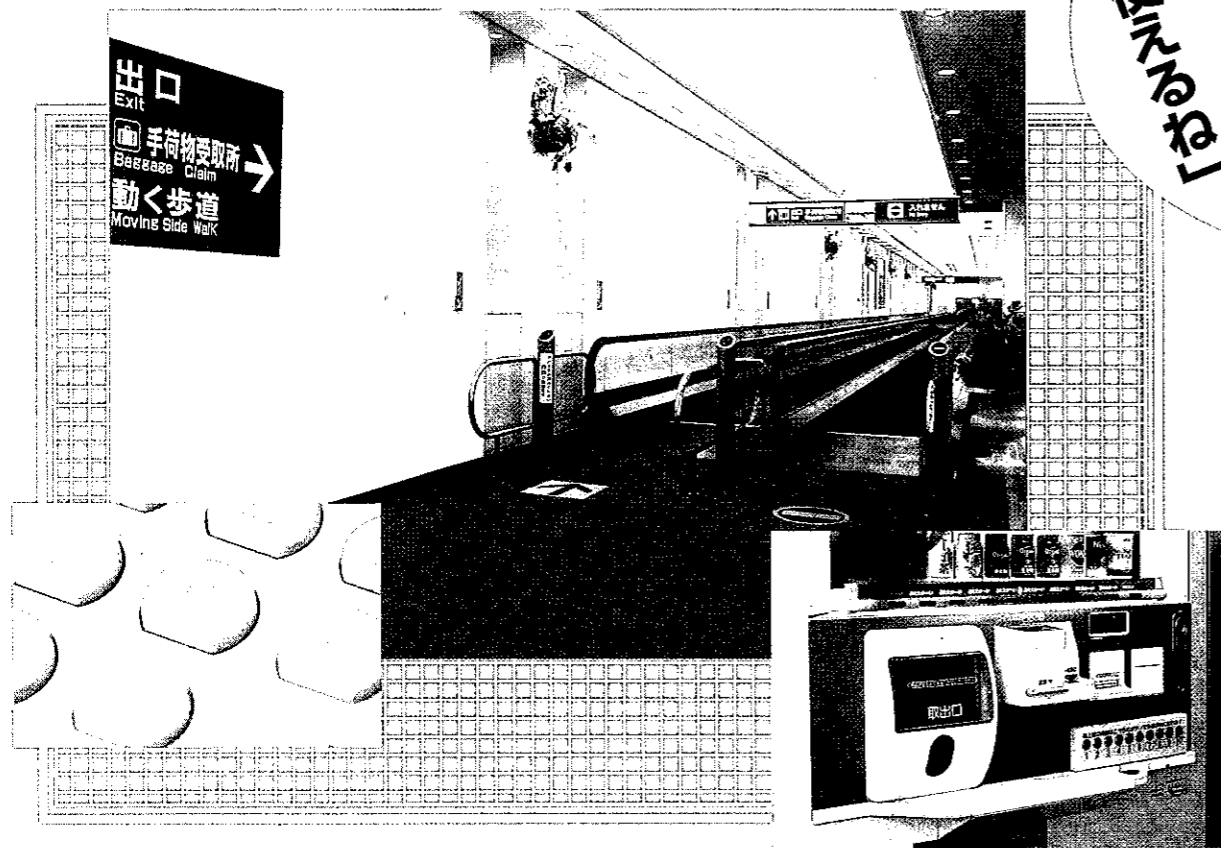
特集*ユニバーサルデザインを考える

「ユニバーサルデザイン」という言葉は、バリアフリーに比べるとまだなじみが薄いのですが、昨今新聞等に取り上げられるようになってきました。では、このユニバーサルデザインとはいったいどんなものなのか。どのような背景の中から生まれてきたのか。そして、実際にどんなところにもどのようなデザインを施してあるのか。順を追ってわかりやすく説明しましょう。

Universal Design

「うん、これなら、だれでも使えるね」

「うん、これなら、だれでも使えるね」



ありば
↑
ユニバーサルデザインを考える

ユニバーサルデザインの七つの原則

- ①公平さ (だれでも同じように利用や購入ができること)
- ②自由さ (利用者の選択肢が多いこと)
- ③使い方が簡単で、わかりやすいこと
- ④必要な情報が理解しやすいこと
- ⑤安全性が高いこと
- ⑥疲労や身体的な負荷を少なくする
- ⑦利用しやすい大きさとスペースがある

ユニバーサルデザインとは、アメリカの設計者であり教育者でもあったレイ・チャールズ・ヘイズによって提唱され、彼は一九九〇年以降、ユニバーサルデザイン運動を推進し、その考えが広く知られるようになった。

ユニバーサルデザインとは、アメリカの設計者であり教育者でもあったレイ・チャールズ・ヘイズによって提唱され、彼は一九九〇年以降、ユニバーサルデザイン運動を推進し、その考えが広く知られるようになった。

ユニバーサルデザインとは、アメリカの設計者であり教育者でもあったレイ・チャールズ・ヘイズによって提唱され、彼は一九九〇年以降、ユニバーサルデザイン運動を推進し、その考えが広く知られるようになった。

ユニバーサルデザインとは

ありば Vol. 3 2002 福祉のまちづくり広報誌

CONTENTS

01 [特集]ユニバーサルデザインを考える
「うん、これなら、だれでも使えるね」

05 ありばフラッシュ*ハンセン病を生きて

06 スペシャルインタビュー
ありばびと
視覚障害をもちながら
中国語や音楽を教え、二胡を奏でる 坂口 真平さん

08 うれし自分史 轟 博美さん

09 ありばレポート 精神保健ボランティアサークル
「ゆめの実」

10 バリアフリー最前線

- 人に、まちにやさしい 超低床電車「ユートラム」
- わがまちのバリアフリーマップ作成 伊集院高校家庭クラブ
- 興味しんしん、障害者のためのIT塾 らくらくインターネット塾
- みずから体験し考える福祉学習プログラム 福山高校

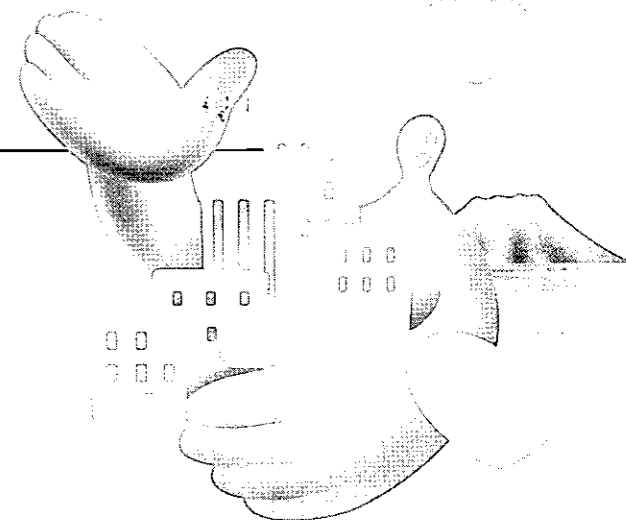
コラム ここで見つけたバリアフリー 阿久根タクシー、店遊び 萌

12 イベントレポート 第一回全国障害者スポーツ大会
翔く・新世紀みやぎ大会

13 鹿児島県からの
お知らせ

“ありば”とは…

「バリア」の逆は「ありば」。バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介する広報誌、それが「ありば」です。



Universal Design

私たちは、いろんなモノを使ったり、暮らしている場所で、どんなことに不自由を感じていたり、使いにくさや、わかりにくさを実感しているのでしょうか。そうしたポイントを取り上げ、どういう策を講じればもっと使いやすいものになるのか考えてみました。

工夫をする
ユニバーサルデザイン

1 視覚編

表示文字が見えない、見づらい

文字を大きくする、色をつける、コントラストを付ける。どうしても見づらい場所では音声によるガイドを流す。

段差のある場所で、踏みはすすなどの危険がある場合

照明設備を設置し、適度な明るさを確保する。事前に段差があることを音声で流す。

車いすなどから見づらい

掲示する高さを車いすに乗った時の視線に合わせる。

2 聴覚編

聞こえない、聞きづらい

音量を大きく、雑音を取り除く。視覚に訴える表示に、ランプや文字で作業開始や終了を教える。

どの音が何を意味するかわからない

音声ガイダンスを付加する。または、携帯電話の着信メロディのように曲によって識別させる。

3 動作・取り扱い編

力が弱い、怪我で力を出せない

小さな力で動かせたり、開けたりできるように。

両手を使わないといけない

片手でも使える重さやバランスを考える。

腰かけたり、立ち上がるのがたいへん

滑りにくい構造に、手すりや支柱などを設ける。

車いす、ベビーカー使用者に対しては

直進、Uターンなどに比較的広いスペースを確保しておく。使用しない時のための収納スペースにも配慮する。

4 その他

取扱説明書がむずかしい

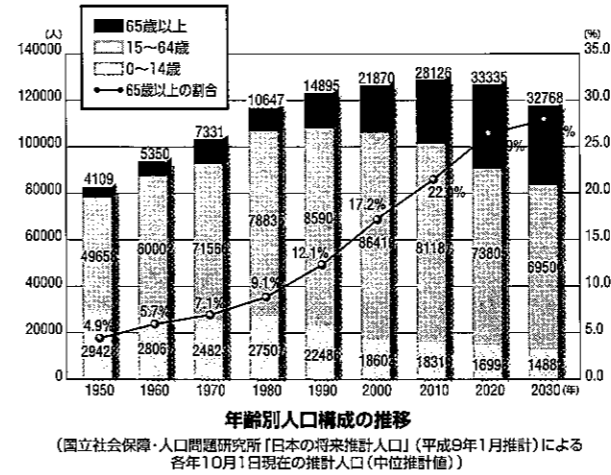
専門用語の解説を付ける。内容をわかりやすくするために写真、イラスト、Q&Aをつけるといった工夫。

操作がむずかしい、まちがえそうでこわい

手順を追ったガイダンスを、まちがえそうなところには確認やワンポイントアドバイスを付ける。

Universal Design

ここでは、なぜユニバーサルデザインが生まれたのか。その誕生の背景をみてみたいと思います。



高齢社会への対応

二十世紀は高齢社会、福祉の世紀などと言われます。とりわけ日本は、平均寿命が長いという点でもあって、他国とは比較にならないほど高齢化が進んでいます。日本の将来の推計人口をみてみると、二〇一五年には四人に一人が六十五歳以上という

情報化社会は、人にやさしく

私たちの暮らしを見まわしてみると、十年前とはずいぶん変わりました。例えば携帯電話。十年前は、電話ボックスに駆け込んで通話していたのに、今はどこにいても携帯電話で連絡をとることが出来ます。コンピュータや通信技術の飛躍的な発達で、インターネット等の新しいメディアがビジネスや暮らしの中に入ってきて、情報機器を抜きにして人とモノの関係が語れなくなってきました。そうした情報化社会において、だれもが平等に情報の恩恵を受けられることができて

モノや環境にも配慮する

これまでは、効率や性能を最優先させてモノづくりを行うことが多々ありました。あるいは付加価値という名のもとに、必要でない機能や使う頻度が低い機能が盛り込まれていたりしました。ほんとうの使いやすさとはなにかを、いま一度見直して、人や環境にやさしいモノづくり、そこにユニバーサルデザインが求められているのです。また、道路や建物、まちそのものも、まだすべての人にやさしいものにはなっていない。表示板一つとっても、すべての人にわかりやすい色、形、文字なのか、それは環境全体との調和がとれているか、など検証していく課題はいっぱいあります。そうした視点に立つと、ユニバーサルデザインは、今の時代に生まれるべくして生まれたといってもいいかと思えます。

ばいのですが、めまぐるしく変わるハードウェアの進化についていけるでしょうか。やはり、そこにもユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、だれもが公平に使えるものを開発していかなければ、情報格差が生じてきます。技術が進化すればするほど、使えるデザインに変わっていくかなければならないのです。

ありばフラッシュ

ハンセン病を生きて

全療協星塚支部長
敬愛園自治会長
川邊 哲哉さん



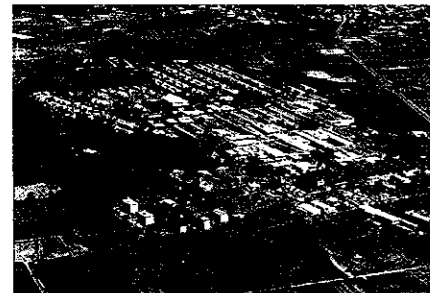
気軽に星塚敬愛園を訪ねて欲しいと語る川邊自治会長

今、鹿屋市にある国立療養所星塚敬愛園には、四百名の元ハンセン病患者が暮らしています。ハンセン病は全員完治していますが、その後遺症として視力や四肢に障害をもち、介護人の世話を必要とする人が約百八十名。全員の平均年齢が七十五・四歳で、九十歳以上の方が十六名います。

ご承知のように、平成八年に「らい予防法の廃止に関する法律」が施行され、それまで、およそ九十年にわたってとらわれてきた、ハンセン病患者の隔離政策が廃止されました。そして、昨年五月にはハンセン病国家賠償訴訟判決があり、昭和三十五年から平成八年まで隔離政策への抜本的な変換を怠ってきた国の責任が認められました。

ハンセン病は以前は「らい病」とも言われましたが、「らい病」と聞いただけで、遺伝するとか毒をまきまきする、という誤った認識をされている世代の方もいらっしゃるかと思えます。ハンセン病は遺伝病ではありませんし、治療を受ければ完

ここへ来て、自分の目で見て知っていただきたいのです。



のどかな田園風景の中にひろがる開放的な星塚敬愛園

治します。

ハンセン病に対する正しい理解をお願いします。そのためには、私たちが暮らす星塚敬愛園に是非足を運んでみてください。園内を自由に散策できます。職員にお願いして施設を見学なさってください。入所者と語りたり、ボランティアも大歓迎です。実際に語り、ふれあうことで、ハンセン病のことに對して正しい知識と理解が得られるものと思えます。

私は、昭和二十五年にハンセン病患者ということで、強制的に入所させられました。私の下に四人の弟がいましたが、



敬愛園で亡くなられた1300余名が眠る納骨堂

ハンセン病問題への県の取り組み

- 県では偏見・差別の解消及び入所者の社会復帰の実現に向けて次のような取り組みを行うこととしています。
- 普及啓発**
- シンポジウムの開催
 - 広報紙等を活用した広報・周知
 - ポスター、パネル、リーフレットを活用した広報・周知
 - 県内に在住する親子を対象とした療養所訪問の実施
 - 療養所入所者の県庁舎訪問等の実施
- 相談・その他**
- 社会復帰に伴う各種相談体制の充実
 - 入所者に対する「ふるさとお楽しみ便」の支給
 - 郷土新聞の送付

ハンセン病について正しく理解しましょう。

- 遺伝病ではありません。
- 治療により完治します。
- 日本には他の人に感染させる可能性のある方はいません。

みんなでハンセン病について話し合ってみませんか

偏見・差別を解消し、ハンセン病であった方々やそのご家族が安心して生活できるようにみんなで社会復帰を支援しましょう。

次男と三男は、兄がハンセン病というだけで、就職や結婚に際しているいろいろな差別を受けました。そうした偏見による差別は、残念ながら今も耳にします。どうか、敬愛園へ見学に来て、自分の目で見て、知っていただきたいのです。九十年の長きにわたって痛めつけてきた、ハンセン病への偏見からくる差別を、一日も早く解消するためには、県民の皆様一人ひとりがハンセン病についての正しい知識を持つことが最も重要なことだと思います。よろしくお願ひします。

Part 4 ユニバーサルデザインを施した実際のモノ、環境は?

Universal Design

もっさりしている中にも「だんご」に入っている

では、実際にどんなものにユニバーサルデザインが施されているのだろう。実際にできたものを見てみましょう。

テレホンカード

差し込み方向に切り欠きが付いているので、矢印を確認しなくても正しく挿入できます。

シャンプー

まちがいがしやすいシャンプーとリンスを、側面のギザギザで識別でき、視覚障害者はもちろん洗髪中目を閉じていても、触るだけでわかります。

電卓の小さな突起

「5」に突起を付けてあり、ここを目印に操作を行うとまちがいに大きく便利です。

動く歩道

(鹿児島空港内)
歩道そのものが動きまわりますので、乗っているだけで移動できます。

点字付き缶飲料

アルコール類と清涼飲料をまちがえないよう、アルコール類はプルタブの横に点字表示があります。

自動販売機

(鹿児島県庁内)
商品やつり銭が、かかまなくても取れる位置になっています。コイン投入口が大きいので、落とす心配もありません。

段差のないパーキング

(東九州自動車道 関分パーキング)
駐車場とトイレなどの各施設との段差がありませんので、車から降りた後の車いすでの移動が楽にできます。

ご紹介したように、ユニバーサルデザインは暮らしの中に少しずつ取り入れられてきて、まだまだ導入の段階です。これからは、安全性や利便性はもちろん、持つことの嬉しさや使うことの楽しさという人の気持ちにフィットするモノや環境が、ますます求められてきます。そうした時に、一つの視点からではなく多角的に見て、できるだけ多くの人が使いやすいを基本にしたユニバーサルデザインは、いろんなところに施されていくものと思われれます。

時代が求めるデザイン

まちを歩いていると、いろいろな施設や構造物に出会えます。色、形、材質などにさまざまなデザインが施されていますが、利用者の視点で見直すと「これは、すっきり」と思うものがあります。例えば、車いす用のスロープが急になっていたり、すべりやすい材料を使っているもの。景観への配慮を優先し過ぎたために、道路の色が白く横断歩道の白線が見えづらいもの。あるいは、側溝のフタの通気孔が大き過ぎて、杖やハイヒールのかかとがはさまりそうなものなどがあり、こうしたユニバーサルデザインとは逆行するものは、早急に考え直す必要があります。

こんなデザインは、考え直さないと!



ありびと

ARIVA*BITO
SPECIAL INTERVIEW

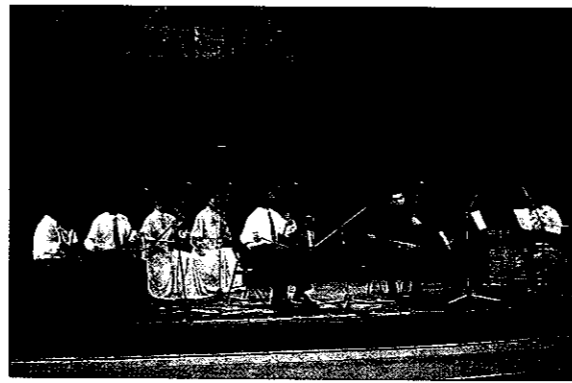
八級の腕前をもつ二胡奏者

「二胡」という楽器をご存知だろうか。日本では胡弓とも呼ばれる中国の楽器である。三味線より小さく、しかも二弦である。時には勇壮に、そしてある時はもの悲しい音色で人の心をなごませてくれる。坂口さんは二胡奏者であり、しかも八級という腕前である。級は級から十級まであり、数字が多いほど上級で、昨年中国で行われた二胡の全国試験にいきなり八級を受け合格した。いきなりと言っても、坂口さんと二胡との付き合いは長い。

坂口さんは、網膜色素変成症という視力が成長と共に落ち、しまいいは失明する病気をかかえていた。小学四年の時に視力の異常がわかり、中学生の時に眼科の先生に失明のことを聞かされた。視力は弱かったが、

視覚障害をもちながら中国語や音楽を教え、二胡を奏でる
坂口 真平さん

二胡のふるさと中国での演奏会に出演



おおらかに、 自然体で接するのがいいですね。

何事も自分で、 人の中へ、まちの中へ

帰国後、坂口さんは郷里鹿児島で音楽教室を開くかたわら、自ら留学生について中国語を習った。一九九三年頃から右目の視力も落ち、文字が読めなくなった。九四年に中国語の点字を学ぶため中国へ。視力回復のためだけに

一生を治療に費やすのは惜しい。そんな思いで長沙の盲聾哑学校の国語教師を訪ねた。先生の家に住み込んで、二週間必死で

視力が回復したという記事を目にした。場所は中国の長沙市、鹿児島市の姉妹都市である。さっそく長沙の病院へ。中国医学は西洋とちがいが、患部を直接治すのではなく体全体から治療していくやり方だ。そのために、半年ほど治療期間が必要だった。四ヶ月ほど過ぎ、いくぶん視力に回復の兆しが見えてきた。

しかし、その頃中国全土は騒然とした空気にいつまれる。一九八九年に勃発した天安門事件である。日本人渡航者に帰国勧告が出て、治療半ばで坂口さんは日本へ。その四ヶ月の間に耳にした中国語や民族音楽の響きは坂口さんの耳に残り、目にした中国人の暮らしも忘れがたかった。いつかは交流を、そんな思いをいだいての帰国だった。

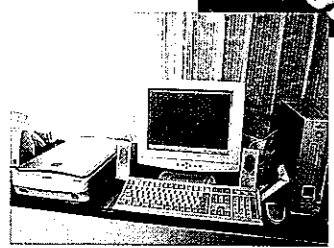
視力回復を願って中国へ

両眼とも見えていたので、自分が三十から四十歳頃に光を失ってしまうなど実感は湧かなかった。小さい頃からクラシックピアノを習ったり音楽大好き少年だった。普通高校に二年通い、叔母のすすめもあって筑波大学附属盲学校の音楽科へ。専攻科でさらに二年学び、東海大学音楽科へ進学。大学では音楽学を学んだ。卒論は山田耕筰の歌曲研究だったという。

大学を卒業すると、母校である盲学校で三年ほど非常勤講師を務めた。この頃から、左眼が見えなくなってくる。病は確実に進行していた。しかし、根っからの音楽好きである坂口さんは、ジャズピアノを学ぶなど幅広いジャンルの音楽を身につけていった。その頃、自分と同じ症状の人が中国で治療し、



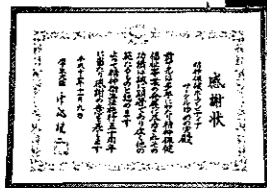
坂口さんが講師を務める中国語教室



障害者用パソコンでさらに世界が広がる

留学中、坂口さんは中国の繁華街や地方の村へ、二胡をかかえてとんとん出かける人の輪の中へ入っていた。「二胡を弾き、唄い、語る。音楽は、いろんなことを表現できるからいいですね。中国の人はとてもおもしろいので、すぐに友達になれるんです。乗物の中で座りたす時は、私が空いてない（と）気軽にたすねると）おーい、こっちは空いてるぞあ（と）へへ自然に返事がきます。こっちはいい方いいじゃないですか。今、坂口さんは鹿児島で中国語と音楽を教えながら、今年また中国へ。二胡の九級の試験へのチャレンジです。

精神衛生法施行五十周年を記念して厚生大臣から贈呈された感謝状(平成12年11月)



障害者への支援、そしてみずからも楽しむ

きつかけは「学んだことを社会に活かす」だった。平成七年鹿児島県主催の「精神保健福祉ボランティア養成講座」受講者の二期生の中から、せっかく勉強したのだからなんとか役に立ちたいという声が上がった。その声がかたちになってくのは代表を務める福満順子さんから二期生との連携から、「一期生は言い出し、二期生は当りを振りかえる。「ゆめの実」の活動は、会員が保健所などのデイケアに出かけて行って、料理、スポーツ、手芸など自分の得意分野を生かして障害者の支援を行うことである。デイケアのほかには三州脇田ヶ丘病院の敷地内の喫茶店では、会員が一人ずつ当番にあたり、これらの支援は、会員みずからもその場を思いっきり楽しむというのが「ゆめの実」の目的である。会員数は約六十名、二十代から六十代までと幅広く、男性も五名登録している。

障害をもっている、どうしても家に閉じこもりがちになり、まわに出て同じような悩みを持つ人と交流する場所が少ない。なんとか交流の場がないだろうか、「ゆめの実」で模索していた平成十二年、保健所の方で荒田の大学通りにある場所を見つけてくれた。「いいこの部屋あらた」と

障害者との交流、そして障害者の交流の場づくりなど講座で学んだことを社会に活かす「ゆめの実」。

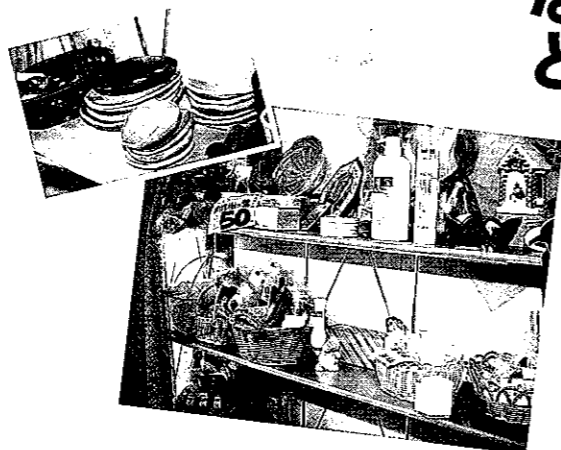


「交流の場がもっと増えれば」と代表の福満さん

名付けられ、木曜日と土曜日にオープンする。楽しいタイムを過ごせる場所となっていくが、第二木曜日はランチがあり、第四木曜日は手づくりパンや野菜、果物などのバザーが行われる。また、店内には「ゆめの実」会員による手づくりの品や障害者の作品が並んでいる。「こうだった障害



オープンの日、室内に入りきれないほど



者と健常者が自由に交流できる場所は、市内に乏しかありません。車など移動できる手段を持っていない方が多いので、地域にもっと数が増えればいいんですが、いろんな交流の中で、私たちが会員が学ぶことがいよいよありますよ」と福満代表。「ゆめの実」は、県下の保健所が主催するボランティア講座にも出向き、実践者としての体験発表や意見交換などを行い、先駆的なモデルとして活動の輪が広がっています。

精神保健ボランティアサークル「ゆめの実」
場所 鹿児島市鴨池二丁目二十五番一十一
鹿児島市保健所内
「いいこの部屋あらた」
場所 鹿児島市荒田二丁目六十五番十六
電話 099-206-5133

涙の数だけ笑顔

とどろき ひろみ
轟 博美さん
(大島郡知名町)

昨年、私が初出版した詩集の冒頭に詠ったものを紹介しましょう。

神様からの贈り物

ママ そんなに私っておかしいの
ママ ねえ なんて
なんでみんな変な目で見ると
そんなにおかしい
私だってちゃんと
足も手も頭だってあるのよ
なんて
博美 そんなにママをいじめないで
ママだって…
博美 ママはね
(神様がこの子は他の子達よりも頑張るようにと
願いをこめてつくったのだと思うわ
だから がんばっても 頑張っても駄目な時はきつと
神様が助けてくれるのよ
本当 本当だね ママ



初めての詩集にサインを入れる。読者からの便りがうれしかった。

こんな感じではじまるのです。私は、四歳から親元を離れ、養護学校、短大へ進みました。辛いにして、地元での就職が決まり、いろいろな方々と巡り合うことができました。そんな中、今回詩集でも協力して下さった平良氏との出会いは最高でした。養護学校でのこと、短大でのことを詩に託し、保管していました。いずれはという気持ちはありましたが、こんなに早く実現するとは思いませんでした。今では、私の本を手にした多くの方々から百通もの感想が届けられました。それはそれは、私が夢想だにしない尊い人生の指針でした。

九十歳を越えるおばあちゃん言葉(あなたの詩を読みながら、美しい永良部の青い海を思へり、詩と写真がうまくマッチして、さわやかな生き甲斐への詩情を感じさせてくれます)。私にとって何ものにも替え難い心の財産になりました。私が味わったこの感激の数々はとうてい言葉では表しきれないものです。涙の数だけと云っていた自らの思いを超越して余りあるものです。このように世の中が温かいものだったとは……。

この思いをこれからの人生に役立てていくことを決意いたしております。本当に自分自身の心の糧となりました。人は、生まれながらにもった試練があると思うのです。それをどのように受け止め、どのように乗り越えていくかによって道が拓けてくるのではないのでしょうか。今、自らの過ぎ去った日々を思い起こせば、環境・人・運にも恵まれて育てられたのだと感謝したいです。この本を出版したことを社会へのステップと思い、これからだよこれからだよと自分に言い聞かせています。



轟 博美さん

生後九ヶ月で脳性小児麻痺にかかり、四歳から施設や養護学校での寮生活を始めた。県立鹿児島養護学校を卒業後、ハンディを乗り越え鹿児島女子短大へ進学し、図書司書の資格を取った。十三歳頃から詩作をはじめ知名町の写真家・平良正雄さんのすすめで、詩集『道すから』を昨年発刊。詩集には平良さんの写真が添えられている。



人に、まちにやさしい 超低床電車「ユートラム」

黄色とベージュのデザインがまことにひと
きわ映える超低床電車「ユートラム」が、
今年月から鹿児島市内にお目見えした。
鹿児島市の路面電車は、昭和三年に開業し、
約七十年余りにわたって市民の足として
親しまれている。「ユートラム」は、乗り場
と電車の床面の段差がわずか5センチで、
従来の五十六・五センチに比べると、ほと
んど足を上げる必要のないフラットな設計。
安心して乗り降りできる。また、車いすや
ベビーカーを使う場合は、スロープ板が出
てくるので、乗り降りはいたってスムーズ。
車いすの固定装置もある
ので、乗車中の揺れや振動
が少なく、乗り心地は抜群。
さらに、発進時の騒音をお
さえたり、消費電力を削減
するなど環境にもやさし
い電車である。



黄色とベージュのツートンカラーが
楽しいユートラム



乗り場との段差
わずか5センチ

バリアフリー 最前線 Barrier Free-Saizensen

わがまちの バリアフリーマップ作成

伊集院高校家庭クラブは、クラス代表か
らなる委員会のメンバーで伊集院のまち
を調査し、バリアフリーマップを作り上げた。
調査・作成にあたった生徒は、障害者の視
点で見ようと、実際に車いすに乗って探検。
「道がガタガタで車いすではこわい」「トイ
しがせまくて使いにくそう」「車いす使用
者専用の駐車場に無断駐車してある」と
いったわがまちの実態がわかり、地図に落
とし込んでいった。



みんなで、まちを歩き、体験し
バリアフリー度をチェック!

秋に行われた県高
等学校家庭クラブ
の研究発表会で最
優秀賞を受賞した。
さらに、高齢者の方
と交流を重ねるう
ちに、バスの時刻表
が見づらいという声
を聞き、手帳サイズ
のバス時刻表を自
分たちで作成し配布。
わかりやすいと好
評である。障害者や
高齢者に対する生
徒たちの意識も大
きく変わった。

興味しんしん、 障害者のための「IT塾」

国の「IT推進事業」を受けて、鹿児島市で
は昨年夏に障害者向けの「IT塾」がスタート
した。講師は、六十人の定員に
六十四人が申し込むという盛況ぶり。講
座では、電源を入れる、マウスの動かし方
といったパソコンの初歩的な操作から、ホ
ームページの閲覧やメールのやりとりまで
を週二回の六回講座で行った。また、視覚
障害者には読み上げソフトを使用するなど、
だれもが気軽に楽しめるような配慮も、
受講者からは「最初は不安だったが、い



回を重ねるごとに
パソコンの楽しさを実感



インターネットで世界がぐ〜んとひろがる

福山町には養護学校や特養など福祉施設
が多い。そうした、身近なところにある
福祉を学ぼうと、福山高校では福祉学習
プログラム「夢プラン」が実施されている。
総合的な学習の時間に対する取組みの環
で、平成十一年度から準備をすすめ、テーマ
の設定、具体的な取組みなどが検討され、翌
年に「21世紀の福祉を考える」福山から
の発信」として、「夢
プラン」をスタート。
二年目の昨年も、全生
徒が手話について学ん
だり、実際に町内のい
ろんな施設に行つて福
祉の現場を体験する
など、夢をカタチにし
ていった。また、七月に
は同校でNHK厚生文
化事業団九州支局な
どの主催で「NHKボ

みずから体験し 考える福祉学習プログラム

「問い合わせ先」
鹿児島市山下町十一番一号
鹿児島市障害者福祉課 ゆうあい係
099-216-11272



いろんな意見に
発見と感動がいっぱい



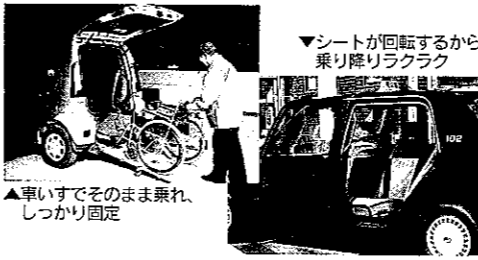
実際に接して
障害者の気持ちが分かった

ランティアフォーラム」が開催され、パネラ
ーに同校の生徒も加わり、ボランティアへ
の理解を深めていった。

コラム 21世紀のバリアフリー

県内初の 介護タクシー「阿久根タクシー」

車体の後部ドアに「ひまわり
タクシー」のステッカーが貼られ、
ヘルパー資格をもった運転手さ
んがお客様に気をくばりながら、
安全に目的地まで届けてくれる。
座席は乗り降りが楽なように
回転式になっている。また、軽福
祉タクシーは車いすのまま乗り
降りができ、大型ワゴンに比べ
料金は格安。車いすの貸し出し
もしてくれる。阿久根タクシー
では介護タクシーをスタートさ
せて二年になるが、「こんなこ
とまでやってくれるの」と市民
の関心は高い。出かけようにも
足回りで苦労の多い障害者に
とって、格好のサービスである。



▲車いすそのまま乗れ、
しっかり固定

場所：阿久根市港町36-2(本社)
電話：0996-72-1311

コラム 21世紀のバリアフリー

出会いがやさしい風になる 「店遊び」

川辺町の中心街にある「萌」は、
手づくりの雑貨も販売する喫
茶店であり、だれでも気軽に交
流を楽しめる地域の茶の間で
ある。障害者によつて運営され、
一歩中に入るとカウンターで談
笑する人、品選びを楽しむ人、
真ん中のテーブルではお客さん
どうしが話が盛り上がり、
活気に満ちている。また、ここ
ではパッチワーク、アートクラ
フト、などの教室が定期的に開かれ、
町内外からいろんな人が集ま
って来る。ぶらりと立ち寄るだけ
でも素敵な出会いが生まれるぞ。



▲だれもが気楽に語り合う

場所：川辺郡川辺町田部田3743-1
電話：0993-56-3738

鹿児島県からののお知らせ

店舗等のバリアフリーのための低利・長期資金 【福祉のまちづくり施設整備資金】

この資金は、中小企業者の方などが、公共的施設（不特定かつ多数の方が利用する施設で、物品販売業を営む店舗、飲食店、理・美容院、ホテル、病院など）を、整備基準に適合した整備を行う場合に必要な資金を融資するものです。

※整備基準とは、公共的施設の出入口、廊下、階段、エレベーター、トイレなどについて、高齢者や障害者の方などが安全かつ快適に利用できるようにするために定めた基準です。



貸付条件

ご利用いただける方

県内で引き続き1年以上事業を行っている中小企業者及び組合で、鹿児島県福祉のまちづくり条例の整備基準に適合するための整備を行おうとする方

申込先

各商工会議所・商工会
組合は鹿児島県中小企業団体中央会

問合せ先

県庁障害福祉課 TEL.099-286-2749
県庁中小企業課 TEL.099-286-2946

限度額

4,000万円

利率

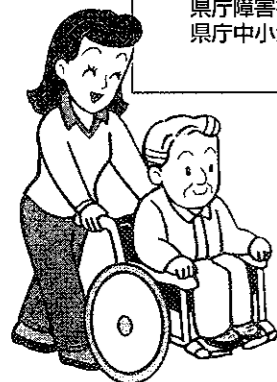
5年以内の返済 年 2.25%
5年超7年以内の返済 年 2.45%
7年超10年以内の返済 年 2.85%

保証料

年 0.7%

返済期間

10年以内



バリアフリーな施設をアピール

【福祉のまちづくり条例適合証】



鹿児島県福祉のまちづくり条例

適合証



適合証の
交付請求

審査

適合証の
交付

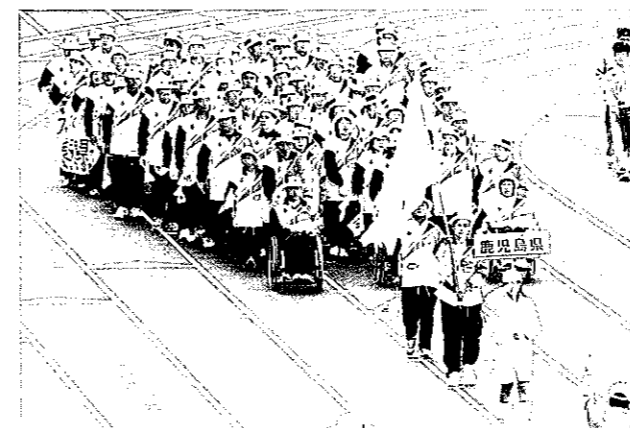
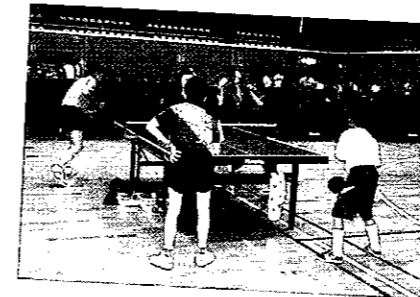
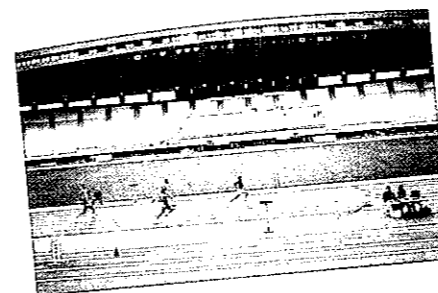
適合証の交付が受けられます。

公共的施設を所有し、または管理する人は、その公共的施設が整備基準に適合しているときには、適合証の交付を請求することができます。

建物の正面玄関などに掲示し、バリアフリーな施設であることをアピールしましょう。

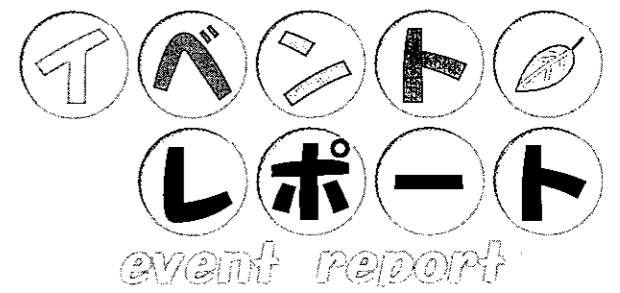


メダルをめざしてがんばる！と高らかに宣誓



感動体験を胸に堂々の入場行進

(写真提供：スポーツ写真通信社)



第一回全国障害者スポーツ大会 翔く・新世紀みやぎ大会

力強く、結団式

新世紀の障害者のスポーツの祭典として、昨年十月仙台市で「第一回障害者スポーツ大会」が開催された。大会のスローガンは「感動体験2001」。十月二十七日〜二十九日の日程で、個人競技と団体競技が行われ、約五千二百人（うち選手は三千五百人）が参加した。これまでは、身体障害者対象の「全国身体障害者スポーツ大会」と知的障害者対象の「全国的障害者スポーツ大会」（ゆあひピック）が行われていたが、二つの大会が統合され「全国障害者スポーツ大会」になった。記念すべき大会である。この大会は、障害者が参加し競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害者に対する理解を深め、障害者の社会参加が

進むことを目的としている。

鹿児島県では、県障害福祉課の重田和男課長を団長に選手五十二人、役員三十五人が参加。十月二十五日には県庁前で結団式が行われた。中村健一県保健福祉部長らの激励に対し、「全国大会ではたくさんのメダルを目指してがんばります」と、フライングディスクに出場する大崎町の鶴田真澄さんが決意を表明した。

大会を支えた 五千五百人のボランティア

大会は、仙台市にある、仙台市グラウンディ21・宮城スタジアムなどを舞台に熱戦が繰り広げられた。鹿児島県の成績は陸上男

子四百メートルで和光学園の今園泰宏君が優勝するなど金二十五個（知的十二、身体十二）、銀十三個（知的七、身体六）、銅十個（知的六、身体四）であった。前号の「ありはレポート」で取り上げたクラウンドソフトボールチームは準優勝に輝いた。本大会は、バリアフリーをテーマに運営され、とりわけ学生ボランティア、チャレンジャーボランティア合わせて五千五百人が大会を支え注目を集めた。選手団の誘導や介助など来県から離県まで付き添い、ともに勝利を喜び、涙を流し、心を通わせた。この大きな財産は、今年開催される高知へと引き継がれる。